

1

- 次の取引の仕訳を示しなさい。
- a. 単純総合原価計算を採用している秋田工業株式会社は、月末に工場の建物に対する保険料の月割額を消費高として計上した。ただし、1 年分の保険料は ¥564,000 である。
- b. 月末における買入部品の実地棚卸数量は 330 個であった。よって、次の買入部品に関する当月の資料にもとづいて、買入部品勘定の残高を修正した。ただし、消費単価の計算は先入先出法によっている。
- | | | | |
|--------|---------|-----------|-------------|
| 前月繰越高 | 400 個 | @ ¥1,120 | ¥ 448,000 |
| 当月仕入高 | 1,200 " | " " 1,150 | ¥ 1,380,000 |
| 当月消費数量 | 1,250 " | | |
- c. 補修指図書 #13-1 に集計された製造原価 ¥180,000 を仕損費勘定に計上していたが、本日、補修が完了したので製造指図書 #13 に賦課した。
- d. 宮城製作所は、月末にあたり、工程別総合原価計算表を作成し、各工程の完成品原価を次のとおり計上した。なお、第 1 工程の完成品はすべて第 2 工程（最終工程）に投入している。
- | | | | |
|--------|------------|--------|------------|
| 第 1 工程 | ¥4,350,000 | 第 2 工程 | ¥6,410,000 |
|--------|------------|--------|------------|
- e. 等級別総合原価計算を採用している岩手工業株式会社において、1 級製品 6,000 個と 2 級製品 8,000 個が完成するとともに副産物が発生した。ただし、総合原価は ¥3,646,000 であり、そのうち副産物の評価額は ¥110,000 であった。なお、等価係数は次の各製品 1 個あたりの重量を基準としている。
- | | | | |
|-------|------|-------|------|
| 1 級製品 | 300g | 2 級製品 | 200g |
|-------|------|-------|------|
- f. 工場会計が独立している山形工業株式会社の工場は、工場の従業員に対する健康保険料 ¥320,000 を本社が支払ったとの通知を受けた。ただし、健康保険料 ¥320,000 のうち半額は事業主負担分であり、半額は従業員負担分である。なお、健康保険料預り金勘定は本社のみ に 設 け て 有 る。（工場の仕訳）

2

- 福島製作所は、組別総合原価計算を採用し、A 組製品と B 組製品を製造している。次の資料によって、組別総合原価計算表と A 組製造勘定を完成しなさい。
- ただし、
- i 組間接費は組直接費を基準として配賦する。
 - ii 素材は製造着手のときにすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。
 - iii 月末仕掛品原価の計算は先入先出法による。

資 料

a. 当月製造費用

	A 組	B 組	組間接費
素 材 費	¥2,268,000	¥1,672,000	—
労 務 費	¥2,572,000	¥1,590,000	¥ 340,000
経 費	¥ 560,000	¥ 338,000	¥1,640,000

b. 生産数量

	A 組	B 組
月初仕掛品	1,000 個（仕上り程度 50%）	500 個（仕上り程度 40%）
完 成 品	5,000 個	2,000 個
月末仕掛品	500 個（仕上り程度 60%）	400 個（仕上り程度 50%）

3

- 次の各問いに答えなさい。
- (1) 次の文の [] のなかに、下記の語群のなかから、もっとも適当なものを選び、その番号を記入しなさい。
- 製品を製造するために要した材料費・労務費・経費の合計額に [] を加えた額を総原価という。
1. 製造間接費 2. 売上原価 3. 販売費および一般管理費
- (2) 茨城製作所の下記の勘定記録と資料により、次の金額を求めなさい。ただし、会計期間は原価計算期間と一致しているものとする。

a. 直接労務費

b. 製造間接費の実際発生額

c. 売上原価

製 造		製 造 間 接 費	
前期繰越	619,000	工場消耗品 ()	製 造 ()
素 材	2,212,000	賃 金	287,000
賃 金 ()		給 料	342,000
外注加工賃	384,000	電 力 料 ()	
製造間接費 ()		減価償却費	180,000
()		()	()

製造間接費配賦差異

製造間接費	13,000	売上原価	13,000
-------	--------	------	--------

資 料

① 工場消耗品	期首棚卸高	¥ 19,000	当期仕入高	¥ 275,000	期末棚卸高	¥ 31,000
② 賃 金	前期未払高	¥302,000	当期支払高	¥2,267,000	当期未払高	¥284,000
③ 電 力 料	当期支払高	¥127,000	当期測定高	¥ 125,000		
④ 製 品	期首棚卸高	¥893,000	期末棚卸高	¥ 974,000		

- (3) 栃木工業株式会社は、直接原価計算をおこない利益計画をたてている。当月における下記の資料から、次の金額を求めなさい。
- ただし、販売単価は一定とする。

a. 売上高が ¥3,300,000 のときの営業利益

b. 損益分岐点の売上高

c. 目標営業利益 ¥600,000 を達成するための売上高

資 料

① 売 上 高	¥3,000,000
② 変動売上原価	¥1,680,000
③ 変動販売費	¥ 420,000
④ 固定製造間接費	¥ 310,000
⑤ 固定販売費および一般管理費	¥ 200,000

- (4) 標準原価計算を採用している群馬製作所の当月における下記の資料から、次の金額を求めなさい。ただし、能率差異は標準直接作業時間と実際直接作業時間の差異に標準配賦率を掛けて計算する。なお、解答欄の()のなかに不利差異の場合は(不利)、有利差異の場合は(有利)と記入すること。

a. 完成品の標準原価 b. 予 算 差 異 c. 能 率 差 異

資 料

① 標準原価カード(一部)

A 製品 標準原価カード			
標準直接作業時間		標準配賦率	
製造間接費	2時間	¥1,200	¥2,400
製品 / 個あたりの標準原価		¥7,400	

② 実際生産数量

月初仕掛品 250個 (仕上り程度40%)
完 成 品 800個
月末仕掛品 180個 (仕上り程度50%)

③ 実際製造間接費発生額

¥2,048,000

④ 実際直接作業時間

1,600時間

⑤ 製造間接費予算

変動費予算額 ¥ 486,000 (変動費率 ¥300)
固定費予算額 ¥1,458,000
基準操業度(直接作業時間) 1,620時間

4

個別原価計算を採用している北海道製作所の下記の資料によって、次の各問いに答えなさい。

- (1) 6月中の取引の仕訳を示しなさい。
(2) 部門費振替表を直接配賦法によって完成しなさい。
(3) A製品(製造指図書#1/)の原価計算表を完成しなさい。
(4) 月末仕掛品原価を求めなさい。

ただし、i 前月繰越高は、次のとおりである。

素 材 300個 @¥1,500 ¥ 450,000
工場消耗品 420" " 50 ¥ 21,000
仕 掛 品 (製造指図書#1/) ¥1,831,000 (原価計算表に記入済み)

- ii 素材の消費高の計算は移動平均法により、工場消耗品の消費数量の計算は棚卸計算法によっている。
iii 賃金の消費高の計算には、作業時間/時間につき ¥1,200 の予定賃率を用いている。
iv 製造間接費は部門別計算をおこない、直接作業時間を基準として予定配賦している。

	第1製造部門	第2製造部門
年間製造間接費予定額	¥6,720,000	¥7,824,000
年間予定直接作業時間	13,440時間	19,560時間

v 製造間接費勘定を設けている。

取 引

6月 4日 素材および工場消耗品を次のとおり買い入れ、代金は掛けとした。

素 材 900個 @¥1,400 ¥1,260,000
工場消耗品 3,500" " 50 ¥ 175,000

11日 B製品(製造指図書#1/2)の注文を受け、素材800個を消費して製造を開始した。

22日 次の製造経費を小切手を振り出して支払った。

電 力 料 ¥257,000 保 険 料 ¥162,000

25日 賃金を次のとおり小切手を振り出して支払った。

賃 金 総 額 ¥3,483,000

うち、控除額 所 得 税 ¥314,000 健康保険料 ¥150,000

30日 ① 工場消耗品の月末棚卸数量は560個であった。よって、消費高を計上した。(間接材料)

② 当月の賃金予定消費高を次の作業時間によって計上した。ただし、消費賃金勘定を設けている。

製造指図書#1/ 1,690時間 製造指図書#1/2 1,040時間 間接作業 150時間

③ 健康保険料の事業主負担分 ¥150,000 を計上した。

④ 当月の製造経費消費高を計上した。

電 力 料 ¥253,000 保 険 料 ¥27,000 減価償却費 ¥425,000

⑤ 当月の直接作業時間は次のとおりであった。よって、製造部門費を予定配賦した。

		第1製造部門	第2製造部門
直接作業時間	製造指図書#1/	490時間	1,200時間
	製造指図書#1/2	600時間	440時間

⑥ 製造間接費を次の部門費配分表によって各部門に配分した。

部 門 費 配 分 表

平成〇年6月分

費 目	配 賦 基 準	金 額	製 造 部 門		補 助 部 門	
			第1部門	第2部門	動力部門	工場事務部門
部門費合計		1,203,000	404,000	419,000	244,000	136,000

⑦ 補助部門費を次の配賦基準によって各製造部門に配賦した。

	配 賦 基 準	第1製造部門	第2製造部門
動 力 部 門 費	kW数×運転時間数	20kW×210時間	25kW×320時間
工場事務部門費	従 業 員 数	7人	10人

⑧ A製品(製造指図書#1/)80個が完成した。

⑨ 当月の賃金実際消費高 ¥3,492,000 を計上した。

⑩ 賃金の予定消費高と実際消費高との差額を、賃率差異勘定に振り替えた。

⑪ 第1製造部門費および第2製造部門費の配賦差異を、製造部門費配賦差異勘定に振り替えた。

1

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		

2

組別総合原価計算表				
平成〇年6月分				
摘要		A組	B組	
組直接費	素材費			
	加工費			
組間接費	加工費			
当月製造費用				
月初仕掛品原価	素材費	509,000		470,000
	加工費	425,000		262,000
計				
月末仕掛品原価	素材費	252,000		
	加工費			272,000
完成品原価				
完成品数量		個		個
製品単価		¥		¥

A組製造			
前月繰越	934,000	() ()	
素材	2,268,000	次月繰越 ()	
労務費	2,572,000		
経費	560,000		
() ()			
()		()	

3

(1)

(2)	a	直接労務費 ¥	b	製造間接費の 実際発生額 ¥	c	売上原価 ¥
(3)	a	売上高が¥3,300,000 のときの営業利益 ¥	b	損益分岐点の 売上高 ¥	c	目標営業利益¥600,000を 達成するための売上高 ¥

(4)

a	完成品の標準原価 ¥	b	予算差異 ¥ ()	c	能率差異 ¥ ()
---	------------	---	------------	---	------------

4

(1)

借 方		貸 方	
6月 4日			
//日			
22日			
25日			
30日	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	⑨		
	⑩		
	⑪		

(2)

部門費振替表

平成〇年6月分

直接配賦法

部門費	配賦基準	金額	製造部門		補助部門	
			第1部門	第2部門	動力部門	工場事務部門
部門費合計						
動力部門費	kW数×運転時間数					
工場事務部門費	従業員数					
配賦額合計						
製造部門費合計						

(3)

製造指図書# //

原価計算表

直接材料費	直接労務費	製造間接費				集 計	
		部門	時間	配賦率	金額	摘要	金額
1,440,000	276,000	第1	230	500	115,000	直接材料費	
						直接労務費	
						製造間接費	
						製造原価	
						完成品数量	80個
						製品単価	¥

(4)

月末仕掛品原価	¥
---------	---

試験場校	受験番号

原計の2得点

総得点

1

	借	方	貸	方
a	製	造	保	險
		47,000	料	47,000
b	棚	卸	買	入
	減	耗	部	品
	費	23,000		23,000
c	製	造	仕	損
		180,000	費	180,000
d	第 2 工 程 製 造	4,350,000	第 1 工 程 製 造	4,350,000
	製 品	6,410,000	第 2 工 程 製 造	6,410,000
e	1 級 製 品	1,872,000	製	造
	2 級 製 品	1,664,000		3,646,000
	副 産 物	110,000		
f	健 康 保 險 料	160,000	本	社
				160,000

2

組 別 総 合 原 価 計 算 表
平成〇年6月分

摘	要	A	組	B	組
組 直 接 費	素 材 費	2,268,000		1,672,000	
	加 工 費	3,132,000		1,928,000	
組 間 接 費	加 工 費	1,188,000		792,000	
当 月 製 造 費 用		6,588,000		4,392,000	
月初仕掛品原価	素 材 費	509,000		470,000	
	加 工 費	425,000		262,000	
計		7,522,000		5,124,000	
月末仕掛品原価	素 材 費	252,000		352,000	
	加 工 費	270,000		272,000	
完 成 品 原 価		7,000,000		4,500,000	
完 成 品 数 量		5,000個		2,000個	
製 品 単 価		¥ 1,400		¥ 2,250	

	A	組	製	造
前 月 繰 越	934,000	(A 組 製 品)	(	7,000,000)
素 材	2,268,000	次 月 繰 越	(	522,000)
労 務 費	2,572,000			
経 費	560,000			
(組 間 接 費)	(1,188,000)			
	(7,522,000)			(7,522,000)

3

(1) 3

(2)	a	直 接 労 務 費 ¥ 1,962,000	b	製 造 間 接 費 の ¥ 1,197,000 実 際 発 生 額	c	売 上 原 価 ¥ 5,658,000
(3)	a	売上高が¥3,300,000 のときの営業利益 ¥ 480,000	b	損益分岐点の ¥ 1,700,000 売 上 高	c	目標営業利益¥600,000を 達成するための売上高 ¥ 3,700,000

(4)	a	完成品の標準原価 ¥ 5,920,000	b	予算差異 ¥ 110,000 (不利)	c	能率差異 ¥ 24,000 (不利)
-----	---	----------------------	---	---------------------	---	--------------------

4

(1)		借	方	貸	方
	6月 4日	素 工 場 消 耗 品	1,260,000 175,000	買 掛 金	1,435,000
	//日	製 造	1,140,000	素 材	1,140,000
	22日	電 力 保 險 料	257,000 162,000	当 座 預 金	419,000
	25日	賃 金	3,483,000	所 得 税 預 り 金 健 康 保 險 料 預 り 金 当 座 預 金	314,000 150,000 3,019,000
30日	①	製 造 間 接 費	168,000	工 場 消 耗 品	168,000
	②	製 製 造 間 接 費	3,276,000 180,000	消 費 賃 金	3,456,000
	③	製 造 間 接 費	150,000	健 康 保 險 料	150,000
	④	製 造 間 接 費	705,000	電 力 保 險 減 価 償 却 費	253,000 27,000 425,000
	⑤	製 造	1,201,000	第 1 製 造 部 門 費 第 2 製 造 部 門 費	545,000 656,000
	⑥	第 1 製 造 部 門 費 第 2 製 造 部 門 費 動 力 部 門 費 工 場 事 務 部 門 費	404,000 419,000 244,000 136,000	製 造 間 接 費	1,203,000
	⑦	第 1 製 造 部 門 費 第 2 製 造 部 門 費	140,000 240,000	動 力 部 門 費 工 場 事 務 部 門 費	244,000 136,000
	⑧	製 品	4,584,000	製 造	4,584,000
	⑨	消 費 賃 金	3,492,000	賃 金	3,492,000
	⑩	賃 率 差 異	36,000	消 費 賃 金	36,000
	⑪	第 1 製 造 部 門 費 製 造 部 門 費 配 賦 差 異	1,000 3,000	製 造 部 門 費 配 賦 差 異 第 2 製 造 部 門 費	1,000 3,000

(2) 部門費振替表

直接配賦法 平成〇年6月分

部門費	配賦基準	金額	製造部門		補助部門	
			第1部門	第2部門	動力部門	工場事務部門
部門費合計		1,203,000	404,000	419,000	244,000	136,000
動力部門費	kW数×運転時間数	244,000	84,000	160,000		
工場事務部門費	従業員数	136,000	56,000	80,000		
配賦額合計		380,000	140,000	240,000		
製造部門費合計		1,203,000	544,000	659,000		

(3) 製造指図書#// 原価計算表

直接材料費	直接労務費	製造間接費				集計	
		部門	時間	配賦率	金額	摘要	金額
1,440,000	276,000	第1	230	500	115,000	直接材料費	1,440,000
	2,028,000	第1	490	500	245,000	直接労務費	2,304,000
	2,304,000	第2	1,200	400	480,000	製造間接費	840,000
					840,000	製造原価	4,584,000
						完成品数量	80個
						製品単価	¥ 57,300

(4)	月末仕掛品原価	¥ 2,864,000
-----	---------	-------------